

(春提案)平成27年4月28日(火)～6月5日(金)

提案主体の氏名又は団体名	提案名	事業の実施場所	具体的な事業の実施内容	事業を実施した場合に想定される経済的社会的効果	事業の実施を不可能又は困難とさせている規制等の内容	規制等の根拠法令等	規制・制度改革のために提案する新たな措置の内容
北九州市	国家戦略特区制度を活用した「先進的介護」の実証実装 ～ユニット型指定介護老人福祉施設における共同生活室の柔軟な運営	北九州市内	<p>介護を必要とする高齢者の増加と介護人材の不足、処遇・腰痛問題等による離職など、介護現場を取り巻く問題は山積しており、介護の需給ギャップについては、現在ほぼバランスしている状態から2025年には2,150人の不足と一気に拡大することが予測されており、スピード感をもって介護現場の改革に取り組みなければならない状況である。</p> <p>これらの問題を解決するため、現に運営中の介護老人福祉施設において、テクノロジーを活用した生産性の高い施設運営を行うための「ロボット等を活用した先進的な介護」の実証実装を行う。</p> <p>については、現行制度上は「いずれかのユニットに属する」とされている共同生活室を、隣接する2つのユニットの入居者が交流し、共同で日常生活を営むための場所として一体的に運営する特例を認めていただき、</p> <p>① 施設入所者の満足度の向上 ② 介護職員の作業効率化及び負担軽減 ③ 介護職員の補助・代替機能を有するロボット技術の開発・改良を目的とする実証実装を行いたい。</p>	<p>ユニットの柔軟な運営が行われることにより、下記の効果があるものと考えられる。</p> <p>◆移動支援・歩行支援(リハビリ支援) 移動支援・歩行支援ロボットを共同生活室においても利用可能とすることで、日常生活の中で継続的に移動・歩行を支援する環境を整え、入所者の自立支援につなげる。</p> <p>なお、当該ロボットの効果を最大限に発揮させるためには、2ユニットを一単位とした共同生活室の設置により、より広い空間を確保し、障害物に妨げられることなく移動・歩行訓練を行う環境が好ましい。</p> <p>◆食事支援 介護施設において食事介助は最も人手の係る介護の一つであり、施設は食事の時間帯には非常勤職員を含め、手厚い人員体制で対応しているのが現状である。</p> <p>介護職員の作業効率化・負担軽減の観点からは、こうしたピーク時の作業を中心として、ロボット等のテクノロジーの導入検討を図る必要がある。</p> <p>そのため、配膳ロボットや食事支援ロボット(手の不自由な方が体の一部を動かすだけで、自分で食事ができるようにするロボット)の導入実証を行うことにより、人員体制の最適化を検証する。</p> <p>本実証を行うにあたり、配膳ロボット等の効果を最大限発揮し、人員体制の最適化を検証するためには、入所者の数に応じた必要面積を確保した上で、2ユニット20名が同時に食事を取ることのできる共同生活室(食堂)を設置することが好ましい。</p> <p>◆コミュニケーション 昨今、AIを内蔵したコミュニケーションロボット等の活用に対して、抵抗感無く関心を持って対応する高齢者が増えてきている。</p> <p>こうした中、共同生活室等においてコミュニケーションロボットを活用したレクリエーションを提供することで、入所者に多様なレクリエーション機会を提供するとともに、介護職員の負担軽減に資することができると考えている。</p> <p>また、ロボット開発の観点からも、多様な心身の状態の入所者等とのコミュニケーション機会を与えることが有用であり、2ユニット一単位でのコミュニケーションロボット導入を図りたい。</p> <p>以上により、介護の質の維持・向上と安全性を満たしつつ、ロボット等の効果も最大限発揮することが可能となり、ひいては、</p> <p>◎介護職員が将来展望をもって、働き続けることのできる介護現場の創造 ◎テクノロジー(ロボット・ICT等)の活用により介護職員にやさしい職場環境づくり ◎アジア諸国を見据えた介護ロボット開発拠点の形成等に寄与することが可能となるものと思われる。</p>	<p>「ユニット型指定介護老人福祉施設の設備の基準」において、「共同生活室は、いずれかのユニットに属するものとし、当該ユニットの入居者が交流し、共同で日常生活を営むための場所としてふさわしい形状を有すること」と定められている。</p>	<p>・介護保険法第88条第3項 ・指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準(平成11年厚生省令第39号)第40条第1項第1号ロ(1)</p>	<p>共同生活室について「隣接する2つのユニットの入居者が交流し、共同で日常生活を営むための場所としてふさわしい形状を有するもの」として設置することを可能とする。</p>